

体験活動参加型（小学校）

| | |
|-----------|---|
| 学校名等 | 揖斐川町立揖斐小学校 |
| 実施日時 | 令和元年 11 月 24 日（日） |
| 会場 | 揖斐小学校各教室・体育館等 |
| 参加人数 | 全校児童（169名）・保護者 |
| 学習課題（分野） | 日曜親子行事～家族を思いやり、和やかな時間を過ごす～ |
| 運営者の願い | 日頃なかなかゆっくり家族で過ごすことができない、忙しい家庭が増えている中で、親子が一緒になって活動し「家族を思いやり、和やかな時間を過ごす」日を設けることで、普段は見られない互いのよさを見つけ、家族の絆を深めてもらう。 |
| 学 習 の 内 容 | |

<準備等>

- ・ 1学期から何度も母親委員会研修担当会を開き、開催する教室の内容や講師について話し合った。
- ・ 夏休みまでに、決定した教室の講師の依頼や材料の準備等を各担当が進めていった。
- ・ 9月に全家庭に案内を発送するとともに、アンケートによってどの教室に参加するのかを決定した。

<活動内容>

- ① スポーツ教室（バドミントンや卓球に親子で取り組む）
- ② 空手教室（保護者の空手の指導者が講師となって、空手の型を学び、一緒に体を動かす）
- ③ マスアート（マスでキャラクターなどの絵を描き、ミニタイルでデザインする）
- ④ 畳工房（地元の畳工房の方に教えてもらい、畳でコースターやペン立てなどの小物を作る）
- ⑤ うどん作り（毎年恒例のコーナーで、麺をつくることから親子で取り組む）
- ⑥ 和菓子作り（地元の和菓子職人に教えてもらいながら、カラフルな和菓子を作る）
- ⑦ 万華鏡作り（見え方や筒のデザインを変え、オリジナルの万華鏡を作る）
- ⑧ レジンクラフト（スパンコールやビーズでデザインし、熱を加えて固めたアクセサリーを作る）
- ⑨ 草木染（玉ねぎや茜などで布を染め、大判のハンカチを作る）

<工夫点>

- ・ スポーツ、物作り、料理等、参加者が興味関心もてる多様な教室を設定することで積極的に参加できるようにした。
- ・ 毎年、少しずつコース内容を変えることで、興味をもっているいろいろな体験ができるようにしている。
- ・ 互いに教え合ったり、協力したりする内容になっているので、自然に会話ができて、家族の絆が深まるようになっている。

<効果等>

- ・ 子どもが集中して取り組む姿や保護者の料理やものづくり、運動の技術等、日頃は見られない親子の互いのよさを見つけることにつながっている。
- ・ 当日作った料理や作品を、家庭でも一緒に作ってみるなど、日常生活への広がりも見られる。
- ・ 理科、図画工作、家庭科等、学習への興味関心にもつながっている。

<アンケートより>

- ・ 子どもの普段見られない姿を見ることができてよかったです。（和菓子作り）
- ・ 親子で一緒に体を動かし、とても楽しく過ごせました。（スポーツ教室）
- ・ 親子で協力しておいしいうどんができたのでよかったです。（うどん作り）



母親研修委員会 による、計画的 かつ積極的な活動

◎各学年委員 2 名と本部役員 2 名の合計 14 名による母親委員会研修担当で、多様な活動を設けても機能できる人数構成にした。

◎講師の先生と細かく打ち合わせをして、親子共に楽しめたり、協力したりできる内容にしている。そのことが家族の絆を深めたり、他の家族との交流が生まれやすくなることにつながっている。



日常生活では 体験できない、興味関 心もてる活動

◎普段では、なかなか体験できない内容、親子で一緒に楽しく活動できる内容になるよう工夫をしている。

◎興味をもって同じ活動をすることで、日頃は気づかない互いのよさを発見したり、会話が生まれやすくなるのが期待できる。

◎同じ体験にならないようにアンケートで調整し、6年間で様々な活動を体験することができるよう工夫している。

